

道軟連合報

2023年度 後期号
2023.12.22
第84号
発行所
北海道軟式野球連盟
札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号
発行者 奥山英明
編集者 総務部
印刷所 岩橋印刷株式会社

二〇二三年度 支部理事長連絡会議の開催

～ 来年度からの一般社団法人化 ～

次期役員体制など重要案件了承される



令和五年十一月十二日(日)に道立総合体育センター(札幌市)において、「支部理事長連絡会議」が予定通り開催されました。前日の雪による影響で電車が止まり、時間間に合わなかった支部理事長さんが数名いらっしゃいましたが、報告事項・協議事項に対して慎重審議していただき、全案件すべて了承されました。

○報告事項

- ・全軟連「競技者登録システム」のチーム登録について
- ・二〇二三年度一般会計予算の決算見込みについて
- ・(公財)全日本軟式野球連盟二〇二三年度功労者表彰候補者の

推薦について

- ・北海道軟式野球連盟表彰規程に関わる二〇二三年度功績賞等の推薦について
- ・各部署実況(中間報告)について
- ・第四六回東日本軟式野球大会(二部)北海道代表チームの取扱について

○その他

- ・(公財)全日本軟式野球連盟に関わる情勢報告について
- ・高松宮賜杯第六八回全日本軟式野球大会(二部)について
- ・二〇二四年度北海道大会日程について
- ・北海道大会に係る雨天時対応ガイドラインについて
- ・コンプライアンスについて
- ・少年(中学・学童・ガールズ)の今後の方向性について
- ・アナウンス・記録講習会について
- ・一般社団法人規程類の新設・改廃(案)について
- 協議事項
- ・北海道大会の総括について
- ・法人化に伴う規程類の見直しについて
- ・現行規程類の一部改正について
- ・次期役員体制について

◆お知らせ

☆「解散総会・一般社団法人設立総会」の開催予定

日時…令和六年三月九日(土) 午後二時(予定)

場所…「ホテルノースシテイ」二階「金柔」

札幌市中央区南九条西一丁目

地下鉄南北線「中島公園」駅下車(一番出口徒歩五分)

2023

北海道大会熱戦譜



天皇賜杯第七十八回全日本軟式野球大会ENEOSTーナメント南・北海道大会は、七月十四日から四日間、岩見沢市、栗山町の二会場に十四チームが参加、南空知支部では、本大会を主管するのは平成二十五年以来、十年ぶりの開催、また、本大会の注目は、後志支部代表の「JA ようてい」の三連覇、それをどのチームが阻むか、全国大会出場を目指して、熱戦が繰り広げられました。大会は、十四日夜からの雨と試合当日の天候状況から、初日の試合を

優勝 「JA道央」(石狩支部) ENEOSTーナメント (石狩支部)

七回戦として行われました。このように一回戦は、降雨にも見舞われ、大会に参加されたチームはグラウンドコンディションが悪い中での試合となり、力を出し切れずに敗れたチームもあったと思われます。決勝は、一回戦から打撃が好調で効果的に得点を重ね、守備でも投手を中心に失点を最小限に抑えて勝ち上がってきた「小鍛冶組」(札幌支部)と準決勝で三連覇を目指す「JAよ

うてい」(後志支部)に勝利した「JA道央」(石狩支部)との対戦になり、両チームとも三投手の継投で、投打のバランスが良かった「JA道央」が六対三で見事勝利し大会の幕を閉じました。最後になりましたが、大会期間中ご支援をいただきました道連派遣の役員、道央南ブロックからの交流審判員、そして悪天候の中、懸命にグラウンドコンディションを整えていただきました多くの運営委員、関係者の皆さんに心より感謝とお礼を申し上げます。

(南空知支部 西脇)

天皇賜杯 第78回全日本軟式野球大会ENEOSTーナメント 南・北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
札幌	小鍛冶組	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3
石狩	JA道央	0	4	0	2	0	0	0	0	x	6

天皇賜杯第七十八回全日本軟式野球 ENEOSTトーナメント 優勝「六花亭」(十勝支部)

天皇賜杯第七十八回全日本軟式野球ENEOSTトーナメント北・北海道大会は、各支部代表十三チームが参加し、令和五年七月十五日から十七日までの三日間、オホーツク紋別球場、滝上町営球場を会場に全国大会出場を目指して熱戦が繰り広げられました。

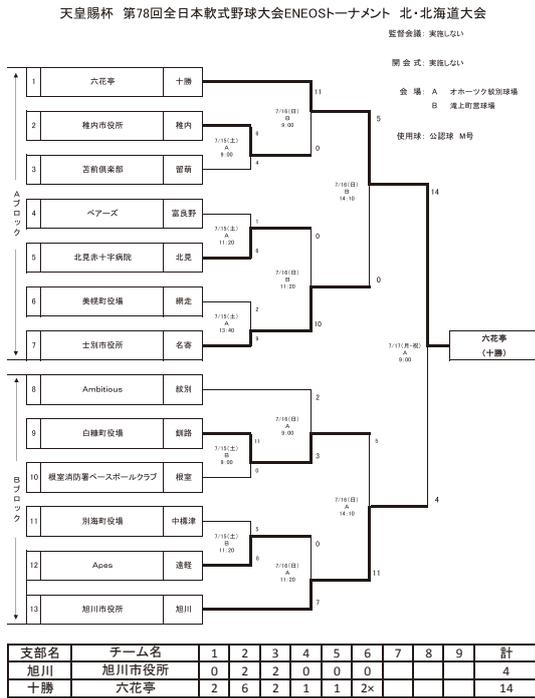
大会二日目は前日からの降雨により、オホーツク紋別球場では関係者総出の水抜きを行い、第一試合開始時間を一時遅らせて開始しました。

その後天候も回復し、無事に日程を消化することができました。

最終日の決勝戦は、「六花亭」(十勝支部)と「旭川市役所」(旭川支部)

の対戦、「六花亭」が一回裏に二点を先行しましたが、二回表に「旭川市役所」が直ぐに二点を返し同点となる展開。今日の試合はどの様になるのかと球場の雰囲気が一瞬変わりました。

二回裏以降も毎回得点を重ねた「六花亭」が十四対四の大差で見事優勝を飾りました。



最後になりますが、道連役員をはじめ、網走、北見、遠軽支部からの交流派遣審判員、地元審判員や会場運営担当者など多くの方からご協力をいただきましたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

(紋別支部 小林)

高松宮賜杯第六十七回全日本軟式野球大会(一部)南・北海道大会 優勝 鷗川球謝(苫小牧支部)

七月八日からの三日間、苫小牧市「とましんスタジアム」を主会場として熱戦が展開された。

大会期間中、天候にも恵まれ決勝戦前夜に降った雨で最高のグラウンドコンディションの中、決勝戦のプレーボールがコールされた。

決勝のカードは、点差を付けて勝ち上がってきた先攻、「KOWTOW」(千歳支部)と一点差の接戦を勝ち抜いてきた後攻、地元「鷗川球謝」(苫小牧支部)となり、一部の

大会では共に初優勝を目指す一戦となり、勝ち上がり方が異なる両チームの決勝戦、試合展開に注目が集まった。

序盤は、柵越えのソロホームラン



が飛び交う展開となり、「KOWTOW」の柳田選手は二打席連続ホームランを放つなどで先行し、「鷗川球謝」が追う展開となった。二対二のまま最終回を迎え、投手リレーでピンチを凌いだ「鷗川球謝」がその裏の攻撃でサヨナラのチャンスを掴み、稲葉選手のサヨナラタイムリレーで「鷗川球謝」が悲願の初優勝を果たし全国大会の切符を手に入れ、大会の幕を閉じた。

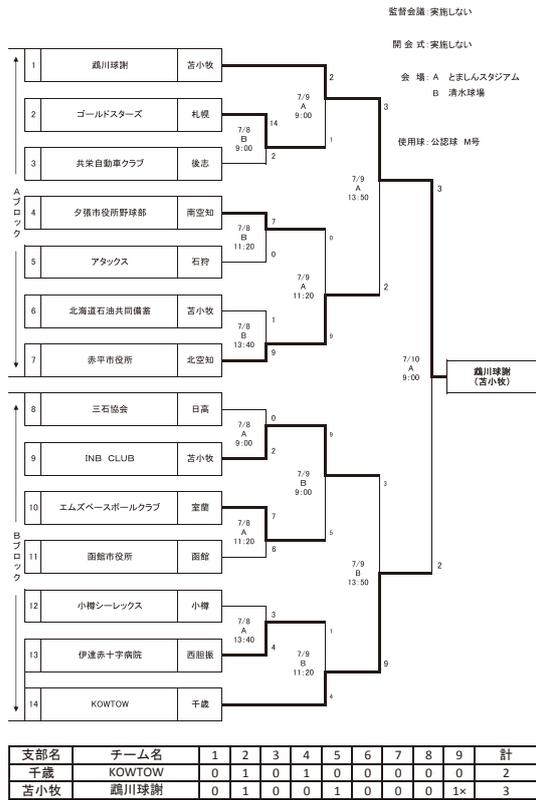
(苫小牧支部 吉田)

高松宮賜杯第六十七回全日本軟式野球大会(二部)南・北海道大会 優勝 WELLLUS, FDS (札幌支部)

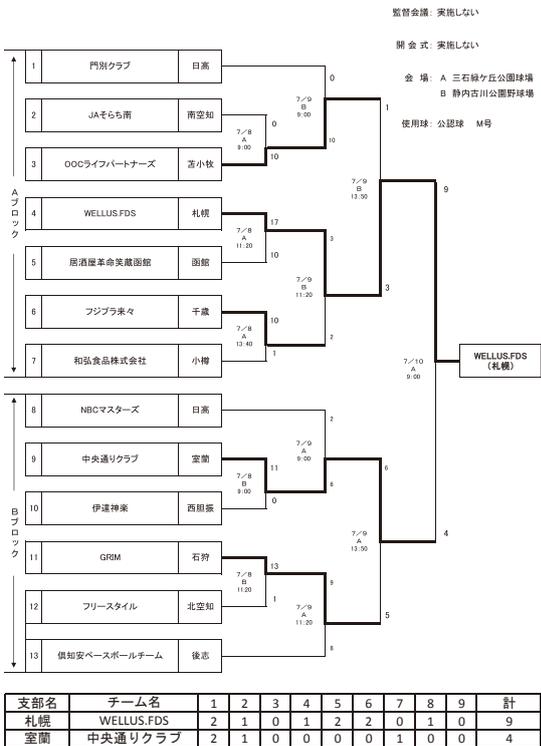
高松宮賜杯(二部)南・北海道大会は、七月八日から十日までの三日間、新ひだか町「三石・静内」を会場に、十三チームの参加により試合が展開されました。本大会は新型コロナウイルス感染症も減少傾向にあり、天候の心配もなく全般の大会運営・試合も幾分和らいだ雰囲気の中で運営されました。監督会議・開会式を実施いたしました。監督会議・開会式を実施いたしました。監督会議・開会式を実施いたしました。

備に労力を費やしては、中止に伴い運営面では大変余裕のある大会とすることができました。また、監督会議中止に伴う事項についても、事前に出場チームへ各種文書(注意事項等)を送付していただき、試合運営も支障なく行うことができました。試合内容は、僅差の試合もありましたが、試合数十二試合のうち、コールドゲームが半数近くの五試合、試合時間も三時間に近い

高松宮賜杯 第67回 全日本軟式野球大会(1部) 南・北海道大会



高松宮賜杯 第67回 全日本軟式野球大会(2部) 南・北海道大会



試合が二試合あり、暑い中での試合ではありましたが、チームにより投手力の弱体が目立つ試合内容でした。近年は用具の進化(バットのピョンド)に伴い、また、ボールの改良等により打球が以前より飛ぶようになり、長打によって終盤に逆転する試合傾向が多い大会でした。決勝戦は札幌支部と室蘭支部との対戦でしたが、連日の暑い中での試合を勝ち抜いてきた両チームも投手力に疲れが目立ち、乱打戦の試合展開でした。D S (札幌支部) が優勝しました。

今後の課題として、自支部をはじめ、各支部で「北海道大会に参加するチームの遵守事項」等の指導をしているところですが、二部大会であるからなのか、多くのチームの選手が遵守事項を把握していない状況が見受けられる大会でした。

(日高支部 中村)

高松宮脇杯第六十七回全日本軟式野球大会(二部)北・北海道大会

優勝 一部 まんぼうクラブ(十勝支部)

一部 六花亭マルセイズ(十勝支部)

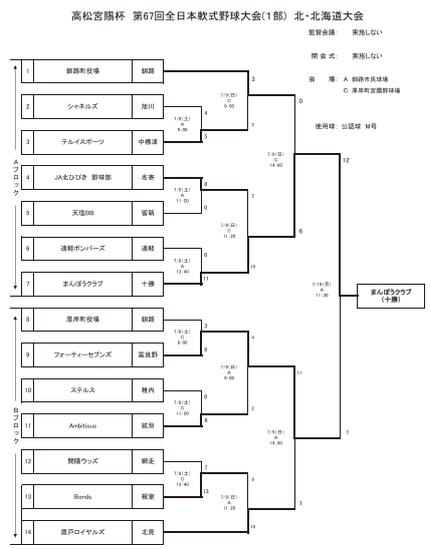
七月八日から七月十日の日程で一部十四チームはウインドヒルひがし北海道スタジアムと厚岸町宮園野球場、二部十四チームはウインドヒルひがし北海道附属スタジアムと阿寒町野球場で代表の意地をかけた熱い戦いを繰り広げました。

大会期間中は天候にも恵まれ(釧路にしては珍しく暑い日が続きました)、全試合九回戦で順調に進行することができました。

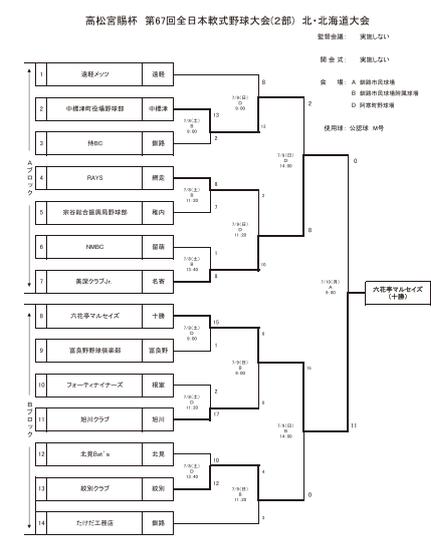
一部はコールドゲームが六試合、延長戦が一試合で「まんぼうクラブ」(十勝支部)が一回戦から打線が爆

発し、決勝戦も「フォーティセブンス」(富良野支部)を十二対一で圧倒、コールド勝ちで強さを見せつけ優勝しました。

二部はコールドゲームが八試合、延長戦が一試合で、決勝戦は「六花亭マルセイズ」(十勝支部)と「美深クラブJr」(名寄支部)の対戦となり、「美深クラブJr」は、二回戦をコールド勝ちの強さで決勝に臨みましたが、こちらも「六花亭マルセイズ」が決勝戦の十一対〇を含む全試合コールド勝ちで優勝しました。



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
十勝	まんぼうクラブ	0	6	0	5	1	1				12
富良野	フォーティセブンス	0	0	1	0	0					1



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
十勝	六花亭マルセイズ	4	1	5	1	0					11
名寄	美深クラブJr	0	0	0	0	0					0



一・二部ともに十勝支部が優勝し、あらためて十勝勢の強さを実感する大会となりました。

コロナ感染症が下火になりました

が、まだまだ不安もあり監督会議・開会式を行わず大会を運営しましたが、何事もなく無事に終えることが出来ましたのも、選手・観客・役員の皆様のご協力のお陰と心よりお礼申し上げます。

最後に、本大会にご支援ご協力賜りました、道連役員、審判員の皆様、関係各皆様に深く感謝申し上げます。

(釧路支部 佐藤)

特別国民体育大会軟式野球競技北海道ブロック予選会 令和5年度北海道体育大会 優勝 六花亭（十勝支部）

特別国民体育大会軟式野球競技北海道ブロック予選会・令和5年度北海道体育大会が十数年ぶりに函館支部で七月二十九日（土）から三十一日（月）までの三日間、函館市、北斗市、知内町、木古内町の四会場で、全二十五チームにより開催いたしました。

残念ながら三支部と大会初日一支部が棄権することになりました。大会期間中はそれぞれ各支部予選を勝ち抜いた強豪チームということもあって、猛暑ではありませんが、一回戦から熱戦が繰り上げられました。

最終日の準決勝・決勝は、準決勝の二試合の途中ゲリラ豪雨に会い二十分間中断するという予期せぬ出来事がありました。決勝戦はベストコンディションの中で行われました。

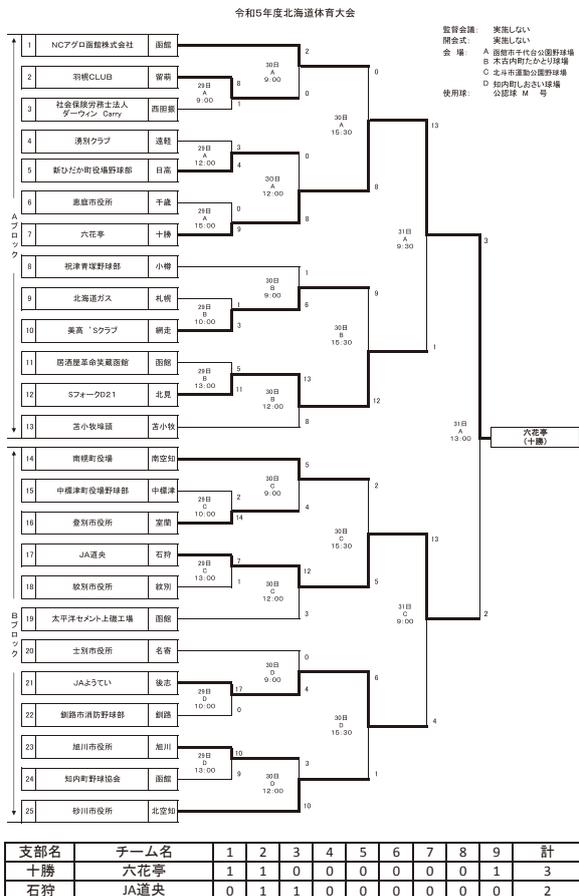
「六花亭」（十勝支部）先攻、「JA道央」（石狩支部）後攻で、「六花亭」が初回一点、二回一点と二点先取したが、JA道央も二回一点、三

回一点を取り同点のまま九回を迎えました。

最終回、「六花亭」が函館市千代台公園野球場両翼九十九m、中堅一二二mのレフト側スタンドに、度肝を抜く一発、ホームランで勝ち越しをしました。

しかし、「JA道央」も無死一塁に出て一死二塁にしましたが、後続が続かず三対二で「六花亭」が見事優勝を掴み取りました。結びに、本大会開催にあたりご尽力いただいた道連役員並びに大会審判員の皆様、そしてお忙しいところお手伝いをいただきました。大会運営スタッフの皆様に、役員一同、心より感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（函館支部 関口）



日本スポーツツマスターズ二〇二三 軟式野球競技 南・北海道大会 優勝 NEXTAGE (千歳支部)

令和五年七月二十二日(土)から二十四日(月)にかけて、「日本スポーツマスターズ二〇二三軟式野球競技南・北海道大会」が開催され、熱戦が繰り広げられました。会場は室蘭市中島公園野球場と登別市川上公園野球場の二会場で、三日間にわたる大会は多くの選手や家族、大会関係者を魅了しました。



本大会は、各支部の予選を勝ち抜

いた十三チームが参加し、南北北海道のトップを決定する舞台となりました。過去の栄光を偲びながら、若かりし頃の熱い情熱を胸に抱くチームや、地域を代表する強豪チームが顔を合わせ、それぞれのチームが持つ独自の歴史と伝統が、大会をより熱いものとさせてくれました。

良いコンディションの中で大会が進みました。四十歳以上の選手たちが繰り広げるプレーは、年齢を感じさせないパワーと技術を見せつけられました。投手陣は特に充実しており、若手にも負けない素晴らしい投球を披露しました。

一方で、打者たちも勇敢にバットを振り、柵越えホームランを次々と記録し、観客を沸かせました。

決勝戦は、「箱館ばんち野球団」(函館支部)と「NEXTAGE」(千歳支部)の激しい対決でしたが、緊迫した展開の中、序盤から積極的な

攻撃を見せた「NEXTAGE」が最後までリードを守り、見事に優勝を手にしました。

しかし、惜しくも敗れた「箱館ばんち野球団」もその粘り強いプレーで称賛され、両チームの壮絶な戦いは多くの観客や選手家族に感動を与えたのではないのでしょうか。

試合後の表彰式では、激戦を繰り広げた選手たちが互いの努力とプレーを称え、両チームは再戦を誓い合い、団結と魅力あるプレーが野球の魅力であることを改めて証明された大会となりました。

この三日間の大会は、野球の魅力、チームワーク、そしてスポーツ精神を称える素晴らしいものであり、来年の「マスターズ」大会がますます期待されるものとなりました。

最後になりますが、開催にあたり、本大会に御支援、御協力いただいた皆様方へ深く感謝申し上げます。報告とお礼の言葉とさせていただきます。ありがとうございます。

(室蘭支部 登山)

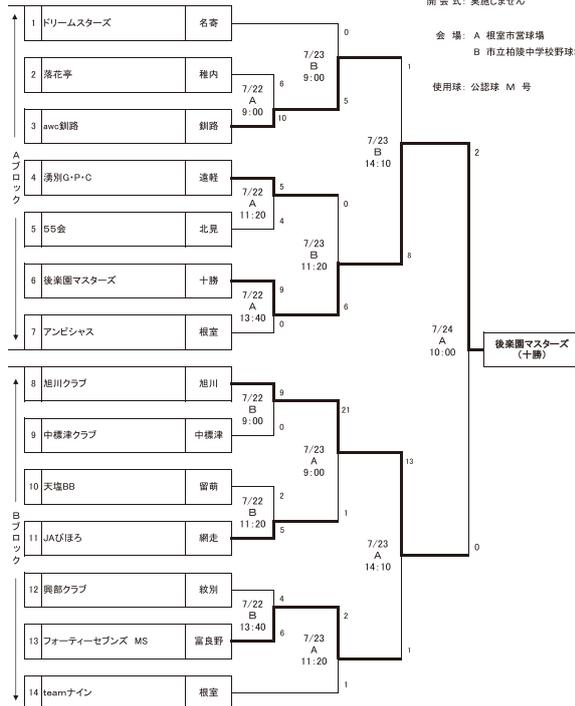
日本スポーツマスターズ2023軟式野球競技 南・北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
函館	箱館ばんち野球団	0	0	0	4	0	0		4
千歳	NEXTAGE	3	3	0	3	0	2x		11

日本スポーツマスターズ2023軟式野球競技 北・北海道大会

監督会議：実施しません
 開会式：実施しません
 会場：A 根室市営球場
 B 市立柏陵中学校野球場
 使用球：公認球 M 号



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
十勝	後楽園マスターズ	0	0	2	0	0	0	0	2
旭川	旭川クラブ	0	0	0	0	0	0	0	0

日本スポーツマスターズ二〇二三
 軟式野球競技北・北海道大会が七月
 二十二日(土)から七月二十四日(月)
 まで根室市営球場・市立柏陵中学校
 野球場を会場に、支部予選を勝ち抜
 いた十三チームと開催地推薦の一
 チームの合計十四チームにより開催
 されました。

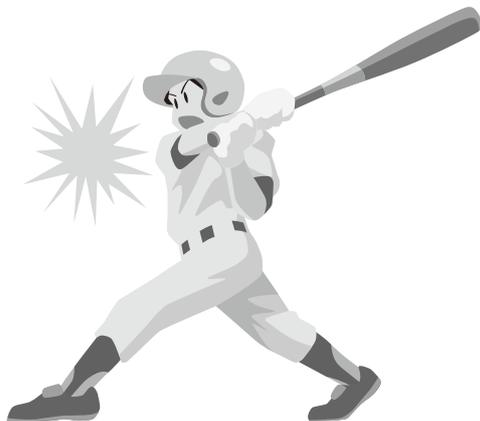
根室特有のガスもないなど、大会
 期間中は天候にも恵まれ、連日熱戦
 が繰り広げられました。
 大会最終日の決勝は、「後楽園マ
 スターズ」(十勝支部)と「旭川ク
 ラブ」(旭川支部)が対戦。試合は
 二対〇と「後楽園マスターズ」(十
 勝支部)が決勝戦らしい緊迫した試
 合を制し、見事に優勝しました。
 改めて、本大会に出場した各支部

日本スポーツマスターズ二〇二三 軟式野球競技 北・北海道大会 優勝 後楽園マスターズ(十勝支部)



代表十四チームの選手の皆様大変お
 疲れ様でした。本大会の開催にあた
 りご尽力いただいた道連役員並びに
 大会運営審判団、そして大会運営ス
 タッフの皆様にご心より感謝とお礼を
 申し上げます。

(根室支部 鵜飼)



第四十六回東日本軟式野球大会（一部）南・北海道大会 優勝 赤平市役所（北空知支部）

第四十六回東日本軟式野球大会（一・二部）北海道大会は、支部のスタッフ減少等に伴い、全道大会運営を軽減すべく、一部を北空知支部、二部を南空知支部の分散開催といたしました。九月二十二日から二十五日の三日間、一部大会は、滝川市、深川市で十四チームが参加して開催されました。

新型コロナウイルス感染症の五類移行で感染対策を講じながら、監督会議を開催して大会が始まりました。

北空知支部開催の全道大会では、雨が付き物ということで、心配したとおり初日に雨が降りましたが、支部役員の願いが天に届いたのか、道連を始めとする大会関係者のご協力により、大きなスケジュール変更もなく、無事に終了することができました。

大会結果の概要は十三試合中、一点差ゲームの三試合を含め三点差以内が六試合、五点差以上が五試合と、どちらかと言えば実力差が分かった内容でした。

準決勝戦は、「株」山高冷機工業（函館支部）と「赤平市役所」（北空知支部）の戦いでした。「赤平市役所」は打線が好調で、十対〇で「株」山高冷機工業に勝利し、決勝に駒を進めました。

「夕張市役所野球部」（南空知支部）と「INB CLUB」（苫小牧支部）の一戦も、「夕張市役所野球部」の打線が爆発し、十二対二で「INB CLUB」を退け、決勝に進みました。

決勝戦は奇しくも、空知勢対決となり、「夕張市役所野球部」と「赤平市役所」との戦いでした。「夕張市役所野球部」は、準決勝まで失点が三点、コールドゲーム一試合と勝ち上がった投打のバランスが取れた地力のあるチームで、一方、「赤平市役所」も失点が一点、コールドゲームが一試合と投打のバランスで勝ち上がった地元支部の期待を背負ったチームです。試合内容は、「赤平市役所」が初回に二点を先制し、その後も得点を重ね、「夕張市役所野球

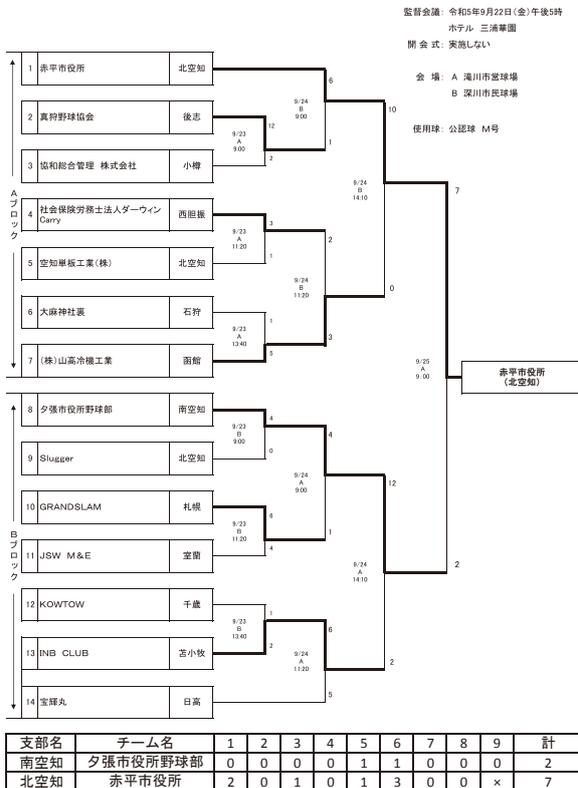
部」の反撃を二点に抑え、七対二で初優勝を飾りました。

参加チーム選手の、勝利を懸けた真剣勝負は、まさに手に汗握る戦いの連続でした。

最後になりましたが、派遣の道連役員、審判員そして大会運営に携わった多くの関係者の皆様にご心よりお礼申し上げます。

（北空知支部 内田）

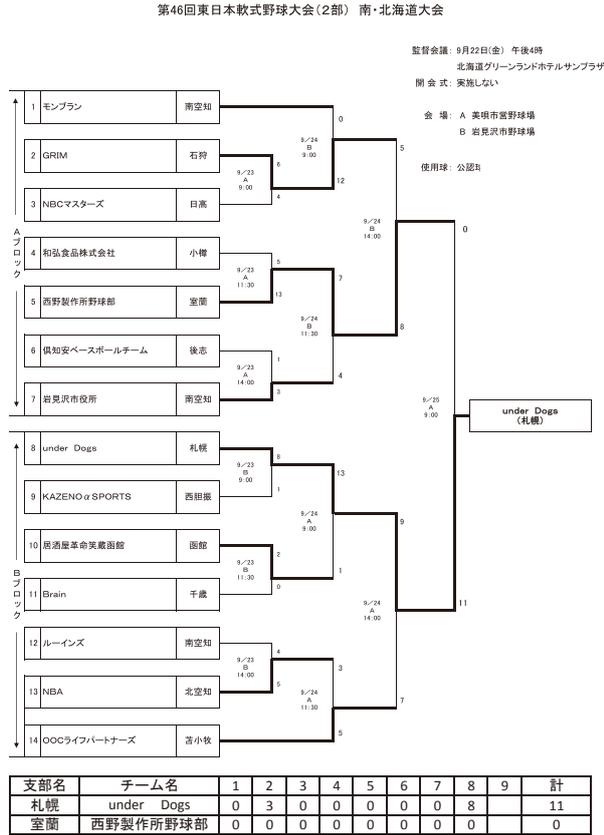
第46回東日本軟式野球大会（一部）南・北海道大会



第四十六回東日本軟式野球大会（二部）南・北海道大会 優勝 Under Dogs（札幌支部）

第四十六回東日本軟式野球大会（二部）南・北海道大会は、九月二十二日から四日間、美唄市、岩見沢市の二会場で、各支部の代表十四チームが全国大会出場を目指して、熱戦が繰り広げられました。

大会は、選手の皆さんが全力でプレー、そして野球を楽しめるよう大会運営陣も全力で大会を支えていただきました。



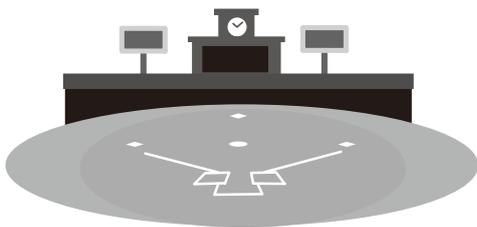
また、年々減少傾向にある大会運営委員について、今回から支部大会でも行っている自チーム試合前シートノック後のグラウンド整備を両チームで行っていただきました。このことは監督会議で説明し、各チームにご理解をいただき実施させていただきました。選手のグラウンドコンディションの確認、整備時間の短縮と円滑な大会運営を図られたと

もに、好天に恵まれた大会になりました。

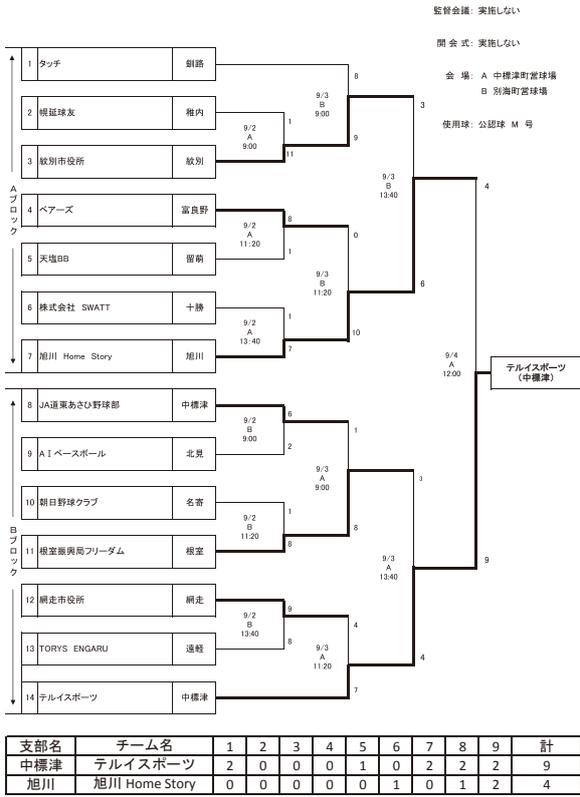
決勝は、一回戦から打撃が好調で効果的に得点を重ね決勝戦までに三十得点をあげた「under Dogs」（札幌支部）と、こちらも打撃が好調で決勝戦まで二十八得点をあげた「西野製作所野球部」（室蘭支部）との対戦になり、日向野投手（監督）の好投と少ないチャンスをかした「under Dogs」が十一対〇で見事勝利し大会の幕を閉じました。

最後になりましたが、大会期間中は道連役員をはじめ、大会関係者、審判員、特に連日、大会運営のご支援をいただきました南空知支部各連盟役員、そしてグラウンド整備をご協力いただきました参加チームの皆さまに心より感謝とお礼を申し上げます。

（南空知支部 西脇）



第46回東日本軟式野球大会(1部) 北・北海道大会



本大会は、九月二日から四日までの三日間、中標津町営球場・別海町営球場・標津町営球場・羅臼町営球場の四球場において、各支部の代表二十八チームが全国大会を目指して熱戦を繰り広げました。

開幕から雨に見舞われたものの、道連役員を含めた現地スタッフのご協力により、無事日程通り試合を行

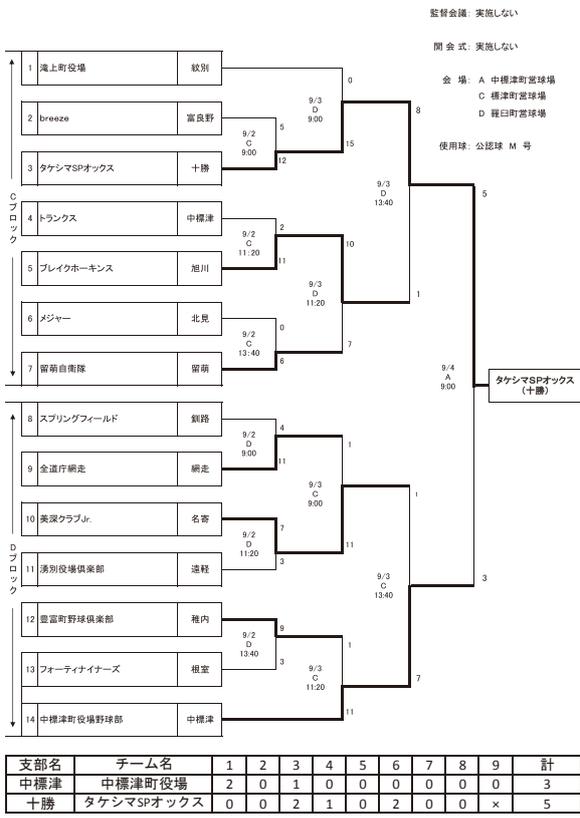
第四十六回東日本軟式野球大会(一部・二部)北・北海道大会
優勝 一部 テルイススポーツ(中標津支部)
優勝 二部 タケシマSPオックス(十勝支部)

うことができました。

一部の決勝戦は地元代表「テルイススポーツ」(中標津支部)と「旭川 Home Story」(旭川支部)が対戦。初回に二点を先制した「テルイススポーツ」が最後まで試合を優位に進め見事優勝しました。

二部の決勝戦はこちらも地元代表「中標津町役場野球部」(中標津支部)

第46回東日本軟式野球大会(2部) 北・北海道大会



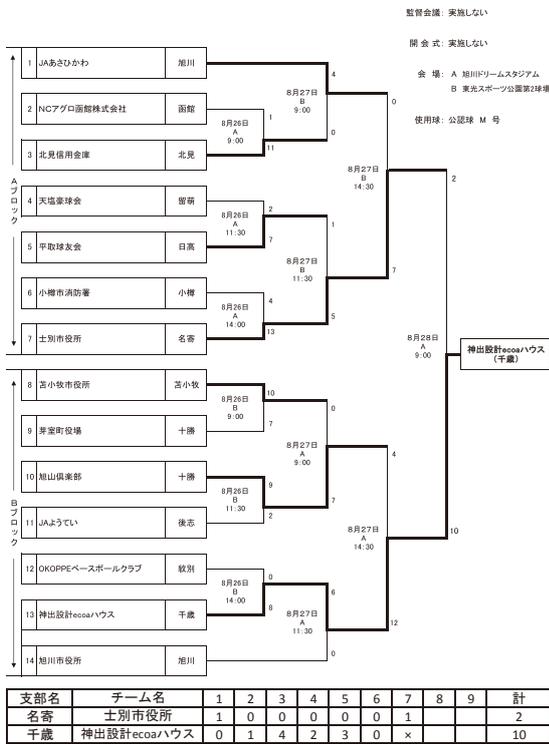
と「タケシマSPオックス」(十勝支部)が対戦。五回まで同点のまま迎えた六回に「タケシマSPオックス」に決勝点となるホームランが飛び出し見事優勝しました。

決勝当日は、一部・二部とも地元代表チームが決勝に進むという快挙もあり、大勢の方が来場し大盛り上がりを見せました。

最後に、大会期間中において、試合運営に関わった役員の皆様、審判員の皆様など多くの方々に協力をいただき心よりお礼を申し上げます。

(中標津支部 橋本)

北海道知事杯 第23回北海道軟式野球選抜選手権大会



北海道知事杯第二十三回北海道軟式野球選抜選手権大会 優勝 神出設計ecoaハウス(千歳支部)

二〇二三年八月二十六日〜二十八日に旭川市ドリームスタジアムをメインに開催し、全道各ブロックからの代表十四チームで熱戦が繰り広げられました。

大会二日目においては、雨による悪天候が予想されることから、七回戦に短縮という変則した形で大会を継続いたしました。

これは、チームの戦術にも影響を与えるものであり、九回戦とは違う

戦い方で、苦慮されたこともあったのではないかと感じているところですので。大会運営上やむを得ない措置ではありましたが、各チームのご理解に感謝申し上げます。

大会結果は、「神出設計ecoaハウス」(千歳支部)が終始、安定した戦いぶりで見事に優勝されました。

本チームにおかれましては、十一月に茨城県水戸市で開催された水戸市長旗杯第三十一回東日本軟式野球選手権大会でも健闘されました。

最後に、本大会は今年度を最後に旭川市から全道各支部での開催に変更されることになりま



した。今大会も含め、尽力いただきました北海道軟式野球連盟役員の皆様、道連、各支部からご協力いただいた派遣審判員の皆さま、地元旭川軟式野球連盟の各位に深く感謝し、無事に任務を終えたことに心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(旭川支部 西木)



第七回全日本シニア軟式野球 南・北海道大会 優勝 ゴールドスタース (札幌支部)

第7回全日本シニア軟式野球大会 南・北海道大会

監督会議 9/9 8:00 函館軟式野球場
開会式 9/9 9:00 函館軟式野球場
会場 函館 軟式野球場
使用球 公認球 M号

支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
函館	函館マリニーズ	2	0	0	0	0	0	0	2
札幌	ゴールドスタース	4	1	5	1				11

第7回全日本シニア軟式野球大会北・北海道大会

監督会議 開催しません
開会式 開催しません

会場 A: 旭川市立旭川公園(旭川市立旭川公園軟式球場)
B: ワインビルスタジアム(旭川市立旭川公園軟式球場)

使用球 公認球 M号

支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
函館	旭川クラブ	0	4	0	0	0	0	0	6
札幌	KB倶楽部	0	0	4	0	1	0	2X	7



今年で七回目のシニア軟式野球大会は、当初、道南ブロック一チーム、道央ブロック二チームを予定しておりましたが、残念ながら道央南ブロックが参加できなくなりました。そのため道央ブロックを二チームへ調整し、予定どおり計四チームで実施されました。準決勝一試合目は「函館マリニーズ」(函館支部)と「エイキンス」(千歳支部)の対戦は七対六の僅差で、緊迫した試合でした。決勝では「函館マリニーズ」と「ゴールドスタース」(札幌支部)の対戦となり

「ゴールドスタース」が二年連続の優勝となり来年の全国大会に駒を進めました。惜しくも準優勝の「函館マリニーズ」は十一月に行われたシニア都市対抗戦の全国大会に出場しました。来年の大会も同様に進めていきたいと思いますが、ブロック代表がない場合は参加チームの工夫が必要と考えております。

(札幌支部 藤山)

第七回全日本シニア軟式野球北・北海道大会は九月九日から九月十日までの期間でウインドヒルひがし北海道スタジアムとウインドヒルひがし北海道附属スタジアムで九支部十チームが全国大会を目指して熱戦を繰り広げました。有難いことに、年々参加チームが増加傾向にあり、今年は十チームになったため、二会場二日間の日程での開催となりました。本大会は五十歳以上の選手で構成されており、まさに生涯スポーツを感じさせる大会で、年齢を感じさせ

第七回全日本シニア軟式野球 北・北海道大会 優勝 KB倶楽部 (北見支部)

ない精鋭たちが決勝戦まで見応える熱戦を繰り広げてくれました。一日目に「KB倶楽部」(北見支部)、「フォーティイセブンスMS」(富良野支部)、「G.G.ファイターズ」(十勝支部)、「旭川クラブ」(旭川支部)がベスト四に勝ち上がり、決勝戦は「旭川クラブ」と「KB倶楽部」の対戦となり、お互いに点数の取合となり、六回終了時点で「KB倶楽部」が五対四とリードする中、最終回に先攻の「旭川クラブ」が二点を奪い、勝負ありと思われたその裏に「KB倶楽部」が二点を奪い返しサヨナラ勝ちで優勝しました。大会中天候には恵まれましたが、コロナ対策として監督会議・開会式は行わず運営致しましたが、何事もなく無事に終わることが出来ました。選手・観客・役員の皆様のご協力のお陰と心よりお礼申し上げます。

(釧路支部 佐藤)

高円宮賜杯第四十三回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント南・北海道大会 優勝 深川一已バートルス（北空知支部）

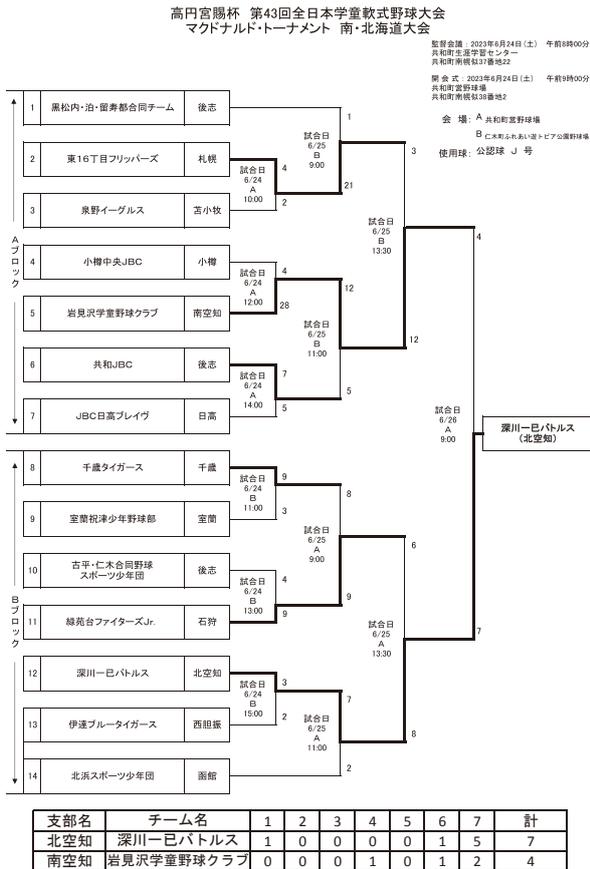
高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会
南北海道大会は、昨年に引き続き
後志支部の主管で開催されました。

今年も共和町営野球場をメイン会
場に、支部予選を勝ち抜いた全十二
チームと開催地推薦の二チームの合
計十四チーム、総勢二七八名の子ど
もたちが集結し南北海道の頂点を目
指し熱戦が繰り広げられました。

五月に新型コロナウイルス感染症

が五類に移行され、ようやくコロナ
禍前の日常を取り戻し、選手、指導
者、保護者はもちろんのこと、大会
を運営する役員、審判員もただだ
けこの日が来ることを待ち望んでい
たことでしょう。

開会式にはドナルドも駆けつけ
くれ、選手は笑顔で記念撮影を楽し
み、ドナルドから激励の言葉をい
ただくと、球場内の盛り上がりは最



高潮に達し、三日間の大会は始まり
ました。

決勝戦は二年連続出場の「深川一
已バートルス」（北空知支部）と準決
勝で前年度優勝の「東十六丁目フ
リッパーズ」（札幌支部）を大差で
破り勢いに乗る「岩見沢学童野球ク
ラブ」（南空知支部）という奇しく
も空知管内のチーム同士の対戦とな
りました。

試合は一回表、「深川一已バートル
ス」が先頭打者の一発でいきなり一
点を先制し歓声と笑顔があふれまし
た。その後、膠着状態が続く四回裏、
「岩見沢学童野球クラブ」はようや
く同点に追いつくとベンチは一気に
盛り上がり応援にも力が入ります。

試合は最終回を迎え、「深川一已
バートルス」は1点を取り、その裏「岩
見沢学童野球クラブ」はチャンス
を逃しここまでかと思われたが、底力
を見せ二対二の同点に追いつくと会
場は歓喜に包まれ、試合は大会規定
により無死一・二塁のタイブレーク
方式で延長戦に突入しました。

「深川一已バートルス」は一挙五
点を奪い優位な立場で試合を進め、後
がない「岩見沢学童野球クラブ」は
その裏粘りを見せ二点を返すが反撃

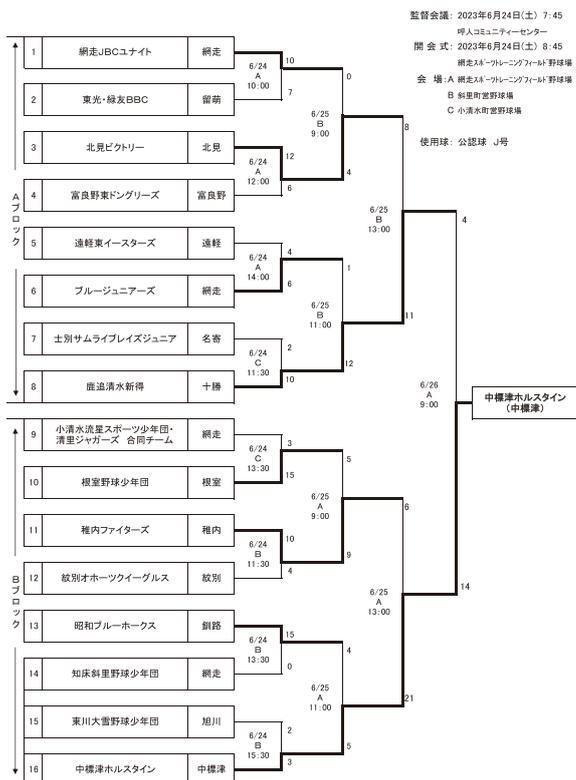
も及ばず、七対四で「深川一已バ
ートルス」が初優勝を飾り、大会は幕を
閉じました。

今大会を振り返ると、今年から選
手登録が二十五名以内までに拡大さ
れましたが、ほとんどのチームは
二十名に満たず、WBCでの日本の
優勝や大谷翔平選手の活躍などに
よ、野球人気が高まっています、
その影で子どもたちの野球人口が急
激に減少していることを目の当たり
にすることとなり、子どもたちに「野
球」そのものを知って貰い好きに
なつて貰えるような機会を数多く創
出する必要性を感じました。

（後志支部 福家）



高円宮賜杯 第43回全日本学童軟式野球大会
マクドナルド・トーナメント 北・北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	計
中標津	中標津ホルスタイン	5	2	5	2			14
十勝	鹿追 清水 新得	1	2	0	1			4

高円宮賜杯第四十三回全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント北・北海道大会 優勝 中標津ホルスタイン (中標津支部)

昨年に引き続き高円宮賜杯第
四十三回全日本学童軟式野球大会マ
クドナルド・トーナメント北北海道
大会が、網走スポーツトレーニン
グフィールド野球場をメイン会場に斜
里町営球場、小清水町営球場の三
場で、六月二十四日から三日間、開

催地推薦三チームを含む十六チ
ムが参加し、オホーツクブルーの青空
の下熱戦が繰り広げられました。
六月二十四日七時四十五分から監
督会議、その後、八時四十五分
の開会式では、各チームは大きな
声を掛けながら元気よく入場行進を行

い、ドナルド・マクドナルドも一
緒に行進し激励のことばをいただき
ました。

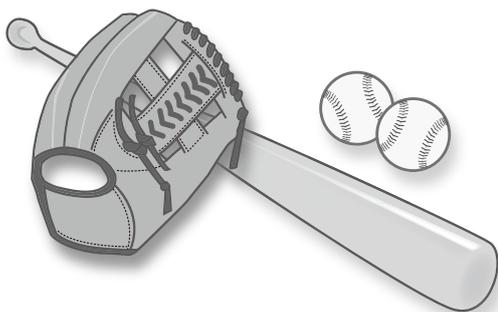
開会式会場の網走スポーツトレー
ニングフィールド野球場駐車場は、
早朝から父母・祖父母等多くの方
が訪れ、駐車場に入れない車で溢れ
ていました。

また、本大会に合わせて七時から
肘肩障害予防検診が行われ、十六
チーム七十二名が受診し、五十三名
が問題なし、十九名が障害の疑い
ありという結果でした。

決勝戦は、昨年の本大会決勝で敗
れた「中標津ホルスタイン」(中標
津支部表)が十四対四で「鹿追清水
新得」(十勝支部)を下し見事優勝
しました。

今大会は、天候にも恵まれ無事終
えることができ、派遣の道連役員、
審判員そして大会運営に携わった多
くの関係者の皆様に心より御礼申し
上げます。

(網走支部 堀田)

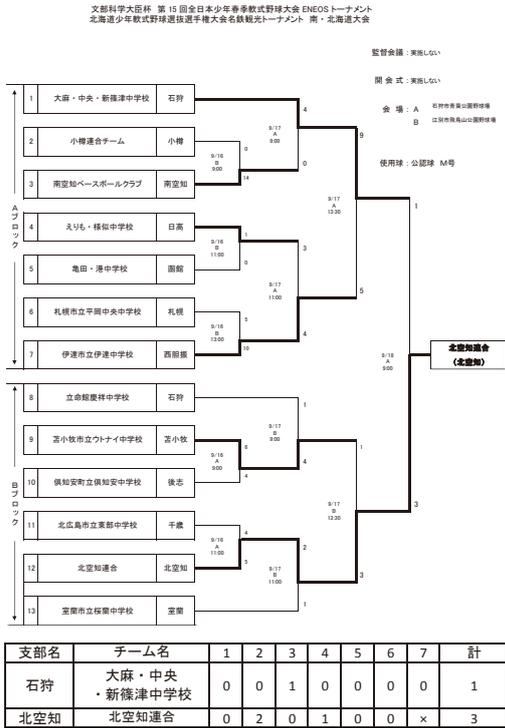


文部科学大臣杯 第十五回全日本少年春季軟式野球大会 ENEOSTURNAMENT・北海道少年軟式野球選抜権大会 名鉄観光TOURNAMENT大会 優勝 北空知連合（北空知支部）

去る九月十六日（土）から十八日（月）までの三日間、石狩市・江別市を会場に全十三チームによる本大会を開催いたしました。

大会期間中にあつては、支部予選を勝ち抜いてきた強豪チームばかり！一回戦より熱戦に次ぐ熱戦でした。その中で、決勝に駒を進めたのは、地元代表「大麻・中央・新篠津中学校」と、「北空知連

合」（北空知支部）の決勝戦。前日の雨もあり、グラウンドコンディションは最高とまではいかないものの天気にも恵まれて、予定どおりプレイボール。先制したのは北空知支部で二回にデッドボールとヒットでノーアウト二、三塁のチャンスで六番バッター宮本選手がライト線にタイムリーツーベース。守る石狩支部代表もライトからの好返球で二人目



は許さず好プレー。しかし、次順でピッチャーがファールボールを出すと石狩支部はピッチャー交代し攻めの野球。攻める手を休めない北空知支部は、内野安打などで一点を取り、この二点先制。続く、三回の石狩支部の攻撃はファールボールからの送りバントでチャンスメイク。内野ゴロの間に、一点をすかさず返しました。続く四回裏の北空知支部の攻撃は、ツーアウト二塁の時に、三盗にいったところに、キャッチャーからの悪送球を誘って追加点をもぎ取り、四回終了時点で三―一。石狩支部、地元への応援も届かず、そのままゲームは進み、見事優勝を掴んだのは、「北空知連合」でした。おめで



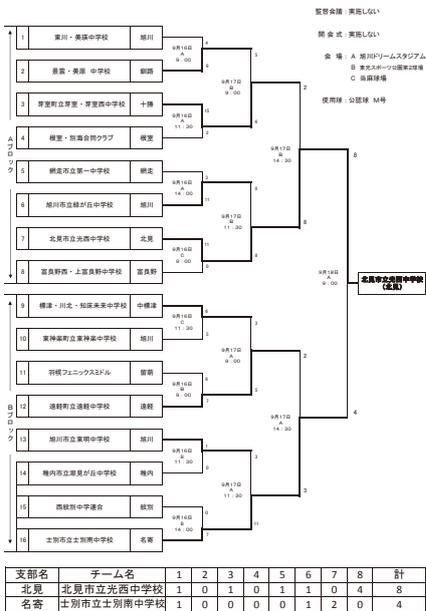
とうございます。
また、本大会の開催にあたり、支部大会を通じ、審判技術向上やルールを再確認しました。今大会を無事に終了できましたのも参加チームのご協力はもとより、各支部皆様のご支援のおかげと思っています。特に、道央ブロック各支部、交流審判派遣など多大なご支援をいただきました。ありがとうございます。
改めて役員一同、心から感謝申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。
（石狩支部 剣持）

文部科学大臣杯 第十五回全日本少年春季軟式野球大会 ENEOS トーナメント・北海道少年軟式野球選抜権大会 名鉄観光トーナメント大会 優勝 北見市立光西中学校 (北見支部)

九月十六日(土) から九月十八日(月) かけ、旭川支部主管で標記大会が開催されました。昨年末までは全道各地から代表校が参加し熱戦が繰り広げましたが、本年度から南・北北海道に分かれ開催することとなり、旭川支部は北北海道大会を主管することになりました。しかし、本大会を主管したことがないためノウハウがなく手探り状態で準備作業を開始しました。まず八月上旬に旭川市中学野球指導者協議会専門委員 村田一也

先生(旭川支部理事)、同じく審判部長 福士英俊先生と旭川軟式野球連盟 竹本理事長及び下山運営委員長との協議を行い、大会の概要についてお互いの状況を確認しつつ細部

文部科学大臣杯 第15回全日本少年春季軟式野球大会 ENEOS トーナメント
北海道少年軟式野球選抜権大会名鉄観光トーナメント 北・北海道大会



を詰めることとしました。一か月半の準備期間を経て北海道各地から精鋭十六チームが集結し開催することができました。本大会は会期三日間十六チームのトーナメントということで三会場(ドリーム・東光第二・当麻球場)における同時開催となり、運営スタッフの確保が大きな課題でしたが、中学野球協議会傘下の審判部・チームから審判員、記録員およびボールボーイの協力を受けスムーズな大会運営が行われま



決勝戦 北見光西中VS士別南中

決勝戦は「北見市立光西中学校」(北見支部)と「士別市立士別南中学校」(名寄支部)で争われ、一回から両チームとも実力を発揮し、六

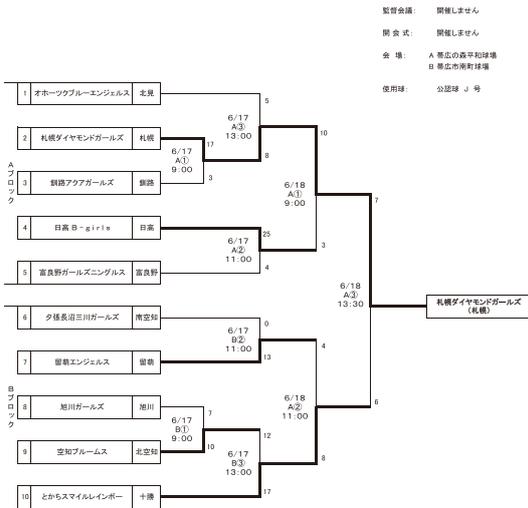
した。また、大会審判長は北海道軟式野球連盟から菅野英樹全軟連審判技術指導員が派遣され、道北ブロック各支部から交流審判員と旭川支部審判員が一丸となった結果、審判団運営でトラブルもなく終了できました。大会は1回戦から僅差の試合が続き、文字通り手に汗にぎる熱戦が各会場で繰り広げられました。九月十八日(月)の準決勝・決勝の天候が心配されましたが、ベスト四が決まった後に試合開始時間を繰り上げ、決勝戦まで無事終了することができました。



優勝 北見光西中学校

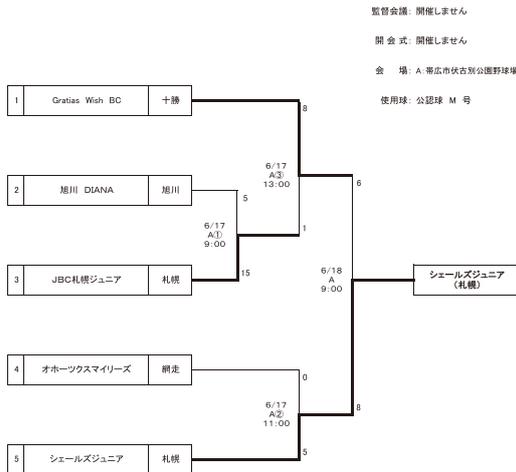
回まで「北見光西中学校」が二点リードし逃げ切るかと思われましたが、七回裏に「士別南中学校」が二点を返しタイブレークに持ち込みました。八回表に「北見光西中学校」が四点を入れ、八回裏の「士別南中学校」の猛攻をしのぎ二年連続優勝の栄冠を手にすることができました。本大会運営に関し北海道軟式野球連盟、道北ブロック各支部及び旭川市中学野球指導者協議会・野球協議会加盟中学校チームの皆様の協力のもと成功裏に終了できたことに感謝し御礼を申し上げます。(旭川支部 下山)

NPB ガールズトーナメント 2023 北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	計
札幌	札幌ダイヤモンドガールズ	3	0	1	3			7
十勝	とかちスマイルレインボー	3	0	3	0			6

第8回全日本中学女子軟式野球大会 (SPT-トーナメント) 北海道大会



支部名	チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	計
札幌	シェールズジュニア	0	0	0	3	0	0	1	4	8
十勝	Gracitas Wish BC	2	0	1	0	1	0	0	2	6

「NPBガールズトーナメント 二〇二三」
「第八回全日本中学女子軟式野球大会」(SPTトーナメント)
ガールズトーナメント優勝 札幌ダイヤモンドガールズ(札幌支部)
全日本中学女子優勝 シェールズジュニア(札幌支部)

二〇二三シーズンは例年通り、六月に「NPBガールズトーナメント二〇二三」と「第八回全日本中学女子北海道大会」が開催されました。「NPBガールズトーナメント二〇二三」は、十チームが参加し、決勝戦は「札幌ダイヤモンドガールズ」(札幌支部)と「十勝スマイルレインボー」(十勝支部)が対戦し、

七対六で「札幌ダイヤモンドガールズ」の優勝。
「第八回全日本中学女子北海道大会」は、五チームが参加し、決勝戦は、「シェールズジュニア」(札幌支部)対「Gracitas Wish BC」(十勝支部)の対戦となり、八対六で、「シェールズジュニア」が優勝し、二大会とも札幌支部の優勝で幕を閉

じました。
大会期間中には、北海道野球協会主催の「肘検診」も行われ、両会場で「肘検診」会場を設置し、ファイターズチームドクターの後藤佳子先生に、投手の肘の状況を見ていただきました。
最後に大会に関わっていただいた全ての方々に感謝とお礼を申し上げますとともに来年は、「第六十八回高松宮賜杯(二部)全国大会」が、十勝で開催されますので、ご協力を宜しくお願い申し上げます。
(十勝支部 小川)



全日本中学校女子優勝 シェールズジュニア



ガールズ優勝 札幌ダイヤモンドガールズ

**第四十四回 スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会
第三十八回 北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会
(第四十五回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北海道予選会)
優勝 札幌オールブラックス スポーツ少年団(札幌市代表)**

令和五年七月十五日〜十七日の三日間旭川ドリウムスタジアム・旭川東光公園第二球場を会場に全道十六チームが全道一を目指し開催された。

この大会は、令和二年・三年の二年間コロナ禍により中止となっていたが、令和四年から再開し、昨年よ

り二年連続出場三チームの内、前年優勝した「東川大雪少年団」と対戦し敗退した「札幌オールブラックス」が昨年の屈辱を果たし全道一の栄冠を手にした。

試合経過は、一回戦は旭川代表を九対三で、二回戦は後志代表を十三対〇で、準決勝は十勝代表を八対三

第44回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会
第38回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会
(第45回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会北海道予選会)

開催日 令和五年七月十五日(土)〜十七日(月・祝)
会場 旭川ドリウムスタジアム・東光スポーツ公園軟式野球場(第二球場)

優勝 札幌市代表 札幌オールブラックススポーツ少年団
準優勝 石狩管内代表 柏木エールズスポーツ少年団
第3位 十勝管内代表 柳町イーグルススポーツ少年団・上川管内代表 名寄南クラブ野球スポーツ少年団
個人賞 【最優秀選手賞】 加藤 幸則 選手(札幌市) 【打撃賞第1位】 長谷川 悠司 選手(札幌市)
【優秀選手賞】 日黒 宙斗 選手(札幌市) 【打撃賞第2位】 松井 恒太郎 選手(石狩管内)
【敢闘賞】 松井 恒太郎 選手(石狩管内) 【打撃賞第3位】 萩島 一真 選手(札幌市)
【敢闘賞】 藤原 朋成 選手(札幌市)

【A】 旭川ドリウムスタジアム 【B】 東光スポーツ公園軟式野球場(第二球場)

優勝 札幌オールブラックス スポーツ少年団

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
代表	十勝	宗谷	オホshima	留萌	旭川	札幌	檜山	後志	胆振	渡島	根室	上川	日高	石狩	空知	釧路
所属	柳町イーグルス	狼狽野球	佐呂間ライオンズ	天塩タイガース	新富野球	札幌オールブラックス	江差フエニックス	YKMスワローズ	韓別ペアーズ	瀬見ジュニア	中標津ジャガーズ	名寄南クラブ	新冠野球	柏木エールズ	石狩南野球	富原ドルフィンズ
所属	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ	スズメ
所属	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団	少年団
所属	音更町	更	更	更	更	更	更	更	更	更	更	更	更	更	更	更



で決勝に進み、決勝戦は石狩代表の「柏木エールズ」を十五対五と危ない戦いぶり、第四十五回全国スポーツ少年団軟式野球大会の出場権を勝ち取った。

(旭川支部 山保)



支部トピックス

函館支部

女性審判員 活躍の場を広げて

函館支部には現在、女性審判員、竹内えり子（一級審判員）・松本きくえ（一級審判員）二名が在籍しています。

兩名は今年、函館で開催された特別国体北海道予選会で、女性審判員として活躍いただきましたが、支部としてはさらに女性の活躍する場を広げていきたいと考えております。また今年も、さらに女性審判員一名の内定をいただきました。

二〇二四年に向けて、さらに、優秀な女性審判員が加入していただけるように、支部として努力して参ります。

（理事長 関口）

千歳支部

審判講習会の開催

（恵庭軟式野球連盟）

千歳支部恵庭軟式連盟（筆者が在籍）では、道軟連登録審判員が七名と、

審判員不足が顕著なうえ、七十歳以上が二名、六十歳代が二名と高齢化が進んでおり、若手も職業人であるため稼働が難しい場合が多く、各種大会においては千歳・北広島両連盟から応援を得て運営しています。

この状況を改善すべく、シーズンオフの十一月から三月までに五回、新規審判員養成を目指し審判講習会を始めました。講習会受講者は連盟登録チームから選出し、第一回目は、十一月十八日に八名の参加で行いました。参加者の平均年齢は三十三歳と若く、今後に期待したいと思います。

講習会資料は「野球規則」「競技者必携」「メカニクス」「審判員マニュアル」から抜粋し、初心者に理解しやすいように作成し約三十分説明しました。その後実技に移り、連盟審判員三名がジェスチャーの基本のうち、球審の構え（スロットスタンス）、投球の判定（トラッキング）など最低限必要な事項について説明しました。

参加者の中には少年団での経験を持つ人もおり、改めて学んだようですが、大半は初めてマスクをつけたり、捕手の後ろで投球判定を行うことに戸惑う場面も多かったようです。審判経験のある参加者からは「一

番初めに球審の指導では負担が大きいので、塁審から始めた方がよいのでは？」との意見が寄せられました。今回は会場の制約があったため、塁審の講習については次回十二月十六日、冬期間も使用可能なテニスコート一面を確保できる屋内運動施設を利用し、実際にベースを配置して各塁の講習を行うことで参加者に了承して頂きました。

今後も審判員の加入と技術向上に取り組みたいと思います。
（千歳支部 清水）

旭川支部

少年部チームアナウンサー講習会



加賀紀子講師
アナウンス
インストラクター

二〇二三年七月一日旭川福祉センター「おびつた」にて講師 加賀紀子様（北海道軟式野球連盟アナウンサーインストラクター）を招き、少年部アナウンサー講習会が行われました。早々に行いたい行事でしたが、

コロナウイルス感染拡大に伴い、感染防止のため計画を断念しておりました。その講習会を三年越しとなりましたが開催させて頂くこととなりました。

【講習内容】

- ・アクセント
- ・言葉の発するタイミング
- ・テンポの取り方
- ・アナウンサーの必要性
- ・質疑応答 他・・・

少年野球チーム二十六チームの父母の皆様八十名（参加者多数のため限定となりました）が参加され、充実した講習会となりました。参加されました父母の皆様からは、大変勉強になりました等のご意見を頂き、無事に講習会を終了することができました。

この講習会により、連盟アナウンサーで活躍いただける方が出てくることを心待ちにしています。この活動は少年野球の発展につながると確信しています。

遠路来ていただきました加賀インストラクターに感謝申し上げます。

（旭川支部 大澤）

少年団スポーツ検診

旭川軟式野球連盟少年部の最後の事業である「スポーツ検診」は、十月二十八・二十九日の両日、上川郡鷹栖町の北野住民センターにおきまして、開催されました。

今年の受診者は三四五名で、例年より一割程度受診者が減少しました。この要因のひとつとして、年々少なくなってきたという団員数が考えられます。参加された指導者や父母らに引率された子どもたちは、肘のエコー検査と体幹の可動域のチェックを受け、真剣な眼差しで担当したドクターや理学療法士の話しに親御さんと一緒に聴き入っていました。

昨今は、一日の寒暖差が激しくなり、旭川地区ではインフルエンザが流行の兆しを見せ、当日のキャンセルが出ております。メディカルチェックで子どもの肘エコーの結果は七名の異常が見つかり一名がODCの疑いがあり医療機関の受診を勧めたところでした。早期に受診し治療を受け、次シーズンもグラウンドで元気に白球を追いかけることを望みます。



フィジカルチェック
(ブリッジ)



メディカルチェック
(肘エコー検査)

また、フィジカルチェックに携わった理学療法士からは、全体的に股関節の可動域など、柔軟性に低い評価が現れていて、ケガの防止からもストレッチ体操の重要性があらためて指摘がされていきました。

この「スポーツ検診」が全道に広がりを見せはじめ、子どもたちのスポーツ障害の防止が大いに期待されます。

(旭川支部少年部)

訃報



全軟連の審判技術指導員で旭川支部元理事長である

黒田忍さんが令和五年九月二十七日八十七歳の生涯を終えられました。北海道へ技術を伝達した審判員の草分け的存在の人でした。支部はもとより全道、全国へと休む間もなく審判講習会に招かれていました。温厚な性格そのままに、やさしく丁寧に指導されている姿を思い出されます。ここに深い哀悼の意を捧げます。

合掌

黒田 忍 昭和12年9月3日生れ
〔略歴〕
昭和37年 旭川軟式野球連盟 審判員
昭和47年 〃 審判長
昭和50年～54年 全軟連審判技術指導員研修生
昭和55年～ 全軟連審判技術指導員(登録番号2)
平成14年～20年 旭軟連 理事長
平成14年～ 道連理事(審判部長)
平成20年～ 道連参与
〔受賞歴〕
平成13年 全軟連勤続表彰 その他

各部近況報告

令和五年度(公財)日本スポーツ協会軟式野球公認コーチ1
令和五年度(公財)全日本軟式野球連盟公認学童コーチ
養成講習会を開催

「令和五年度(公財)日本スポーツ協会軟式野球公認コーチ養成講習会」を札幌市中島体育センターにて十一月十八日(土)、十一月十九日(日)、十一月二十五日(土)の三日間、全道各地から総勢三十八名の参加を得て開催しました。

この講習会は、「地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校部活動等でのコーチングスタッフとして、基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する者を養成する。」ことを目的に開催されました。

三日間の講習会では、スポーツクリニック スポーツ整形外科医の伊藤雄人先生、日本赤十字社北海道支部、(公財)北海道スポーツ協会指定指導者の高岡茂夫氏をはじめ各講

師から座学と実技を行い、カリキュラムを修了しました。

また「令和五年度（公財）全日本軟式野球連盟公認学童コーチ養成講習会」を同じ札幌市中島体育センターにて十一月二十六日（日）、全国各地から総勢六十四名の参加を得て開催しました。

この講習会は、令和六年度から学童登録チームに義務付けされる資格を取得するため、「都道府県の登録学童チームにおいて、次世代を担う学童部競技者が、野球に親しみ、安心して競技力を向上させながらスポーツ障害などに悩まされることなく競技にあたることができるようにする。」ことを目的に開催しました。

講習会では、スポーツクリニックスポーツ整形外科医の伊藤雄人先生より「指導者に必要な医学的知識」など、（公財）北海道スポーツ協会指定指導者の安藤裕満氏より「スポーツマンシップ」、「正しい投球動作の指導」などについて、実技を含めながら学びました。

四日間講習会を通じて、講師の方々の熱のこもった指導などにより、受講された方々の関心も高く質疑応答も積極的であり、今後の指導

に活かそうとする前向きな姿勢がうかがえた講習会となりました。

講習会につきましては、来年度以降も計画的に実施いたしますので、各支部におかれましても資格の必要性と取得者の増加にご協力をお願いいたします。

（育成強化部）



令和五年 お悔やみ

当連盟役員・審判員がご逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

三月二十日

中村 由龍（後志支部）

五月七日

大宮 利光（北見支部）

八月四日

鍋島 信行（室蘭支部）

九月十九日

村上 弘昭（紋別支部）

九月二十八日

澤田 守（南空知支部）

十月八日

笹川 勇夫（石狩支部）

編集後記

二〇二三年の野球シーズンも無事に終わろうとしています。

いや〜。今年の夏は暑かったですね。本州から来たお客さんが、「せっかく北海道に避暑に来たのに本州より暑いぞ」と言っていたのを思い出します。

ちよつと前まではこんなに暑くなることはなかったと思うんですが、これもやはり地球温暖化の影響なんでしょうか。これからは、北海道でもエアコンが必需品になってきそうです。

さてさて、年が明けますと北海道軟式野球連盟も「一般社団法人」に移行します。これまでは任意団体という事で「法人格」がないた

め、契約行為が出来ず資産の保有も認められないなど、いろいろな面で制約がありました。これからは法人化することにより、法人名義で多種多様の事業活動が行えることになるので、組織の運営基盤を強化することが出来ますし、社会的な信用も得やすくなるなどのメリットが考えられます。

したがって、北海道軟式野球連盟はこれまで以上に軟式野球の普及・発展に向けた活動がしやすくなるという事ですが、そのためには何よりも全道二十五支部の皆さんのご理解とご協力が益々必要となつて参りますので、よろしくお願いたします。

（総務部 理事 新林裕幸）

2024年度 北海道大会及び全国大会日程（案）

大会名	主管支部	開催地	会期	締切	抽選	全国大会					
						代表チーム	大会名	会期	開催地		
天皇賜杯 第79回全日本軟式野球大会	南	千歳	千歳市	6/28(金) ~7/1(月)	6/18 (火)	6/19 (水)	南優勝	2	天皇賜杯	9/13(金) ~9/18(水)	静岡県
	北	旭川	旭川市	7/27(土) ~7/29(月)	7/16 (火)	7/17 (水)	北優勝				
高松宮賜杯 第68回全日本軟式野球大会 (1部)	南	日高	新ひだか町	7/13(土) ~7/15(月)	7/2 (火)	7/3 (水)	南優勝	2	高松宮賜杯 (1部)	9/21(土) ~9/23(月)	島根県
	北	留萌	天塩町 遠別町	7/6(土) ~7/8(月)	6/25 (火)	6/26 (水)	北優勝				
高松宮賜杯 第68回全日本軟式野球大会 (2部)	南	苫小牧	苫小牧市	7/6(土) ~7/8(月)	6/25 (火)	6/26 (水)	南優勝	2	高松宮賜杯 (2部)	9/7(土) ~9/9(月)	北海道
	北	稚内	稚内市	7/6(土) ~7/8(月)	6/25 (火)	6/26 (水)	北優勝				
第78回国民スポーツ大会 SAGA2024国スポ北海道ブロック 予選会	北見	北見市 訓子府町 置戸町		8/3(土) ~8/5(月)	7/23 (火)	7/24 (水)	優勝	1	第78回国スポ	10/11(金) ~ 10/14(月)	佐賀県
日本スポーツマスターズ 2024軟式野球競技	南	後志	倶知安町 ニセコ町	7/20(土) ~7/22(月)	7/9 (火)	7/10 (水)	南優勝	2	日本スポーツマ スターズ	9/28(土) ~9/30(月)	長崎県
	北	釧路	釧路市	7/20(土) ~7/22(月)	7/9 (火)	7/10 (水)	北優勝				
第47回東日本軟式野球 北海道大会(1部)	南	苫小牧	苫小牧市	9/14(土) ~9/16(月)	9/3 (火)	9/4 (水)	南優勝	2	※ 第46回(1部)	6/1(土) ~6/3(月)	長野県
	北	名寄	士別市 名寄市 剣淵町	8/31(土) ~9/2(月)	8/20 (火)	8/21 (水)	北優勝				
第47回東日本軟式野球 北海道大会(2部)	南	日高	新ひだか町	9/21(土) ~9/23(月)	9/10 (火)	9/11 (水)	南優勝	2	※ 第46回(2部)	5/18(土) ~5/20(月)	愛知県
	北	名寄	士別市 名寄市 剣淵町	8/31(土) ~9/2(月)	8/20 (火)	8/21 (水)	北優勝				
北海道知事杯 第24回北海道軟式野球選抜選手 権大会	函館	函館市 北斗市		8/24(土) ~8/26(月)	8/6 (火)	8/7 (水)	優勝	1	水戸市長旗東 日本選手権	11/1(金) ~11/5(火)	茨城県
高円宮賜杯 第44回全日本学童軟式野球 大会 マクドナルド・トーナメ ント	南	後志	仁木町 共和町	6/22(土) ~6/24(月)	6/11 (火)	6/12 (水)	南優勝	2	高円宮賜杯	8/15(木) ~8/21(水)	東京都
	北	網走	網走市 大空町 清里町	6/22(土) ~6/24(月)	6/11 (火)	6/12 (水)	北優勝				
高円宮賜杯 第44回全日本学童軟式野球 大会 マクドナルド・トーナメ ント	南準優勝						南準優勝	1	阿波おどりカッ プ	8/1(木) ~8/5(月)	徳島県
	北準優勝						北準優勝	1	高野山旗	7/27(土) ~7/30(火)	和歌山県
第53回全道少年軟式野球大会	札幌	札幌市		7/26(金) ~7/31(水)	7/16 (火)	7/17 (水)					
第41回全日本少年軟式野球北海 道大会	優勝						優勝	1	全日本少年	8/12(月) ~8/15(木)	神奈川県
	準優勝						準優勝	1	水戸市長旗東 日本少年	8/9(金) ~8/12(月)	茨城県
文部科学大臣杯 第16回全日本少年春季軟式野 球大会 名鉄観光トーナメント	南	南空知	岩見沢市	9/21(土) ~9/23(月)	9/10 (火)	9/11 (水)	優勝	2	※ 第15回大会	3/23(土) ~3/28(木)	静岡県
	北	北見	北見市 訓子府町	9/21(土) ~9/23(月)	9/10 (火)	9/11 (水)	優勝				
NPBガールズトーナメント2024	十勝	帯広市		6/29(土) ~6/30(日)	6/18 (火)	6/19 (水)	優勝	1	NPBガールズ	7/27(土) ~8/1(木)	石川県
第9回全日本中学女子軟式野球大会	十勝	帯広市		6/29(土) ~6/30(日)	6/18 (火)	6/19 (水)	優勝	1	全日本中学女 子	8/23(金) ~8/28(水)	京都府
第8回全日本シニア軟式野球 大会	南	札幌	江別市	9/14(土)	9/3 (火)	9/4 (水)	南優勝	2	※ 第7回大会	5/25(土) ~5/28(火)	埼玉県
	北	紋別	紋別市 滝上町	9/14(土) ~9/15 (日)	9/3 (火)	9/4 (水)	北優勝				
第8回全日本シニア軟式野球 大会	南準優勝						南準優勝	2	東日本都市対 抗シニア	10/26(土) ~ 10/28(月)	埼玉県
	北準優勝						北準優勝				
<共催大会> 第45回スタルヒン杯(全道スポ ーツ少年団交流大会)	旭川	旭川市		7/13(土) ~7/15(月)	7/1 (月)	未定	優勝	1	全国スポーツ 少年団交流大 会	8/1(木) ~8/4(日)	鳥取県

※印は、前年同北海道大会代表チームが出場する全国大会